

## 平成 25 年度事業計画

京都府内に存する埋蔵文化財の調査、研究、保存、活用を行い、文化財の保護を図るとともに、文化財保護の普及啓発に努め、地域の文化の発展に寄与することを目的に実施する。

平成 25 年度の実業計画は、次のとおりである。

### 1 発掘調査受託事業

国・京都府等が実施する公共事業に伴う埋蔵文化財発掘調査を受託する。本年度は、別紙平成 25 年度発掘調査事業予定一覧のとおり、12 件の発掘調査（道路建設関係 6 件、施設建設関係 3 件、砂防・河川改修関係 3 件）、2 件の整理報告、1 件の出土品整理を併せ 843,700 千円の事業とする。

23・24 年度に大規模な調査を実施した植物園北遺跡（京都市）、美濃山廃寺ほか（府道：八幡市）で整理作業を実施、報告書を刊行する予定である。また、24 年度に調査を実施した石田城跡ほか（与謝野町）については、周辺の石田谷遺跡を調査し、整理作業と報告書の刊行を行う予定である。

新名神事業及びその関連事業については、京田辺市松井横穴群、城陽市下水主神社東遺跡・下水主遺跡などで大規模な調査を実施する予定である。

これら事業以外にも、今年度から調査を実施している大川遺跡（舞鶴市）などで大規模な調査がみこまれる。また、小規模な調査ではあるが、平等院旧境内遺跡（宇治市）も注目される。

なお、発掘調査の結果は、遺跡調査報告集第 157 冊から 159 冊として刊行する。

### 2 普及啓発事業

#### （1）埋蔵文化財セミナー

埋蔵文化財セミナーは、発掘調査成果の発表を通じて京都府の歴史の解明と文化財の保護に寄与するために年 3 回開催する。

第 1 回は、八幡市内において開催し、平成 23、24 年度に調査を実施した八幡市美濃山廃寺、美濃山瓦窯跡などの調査成果を解説し、遺物などを展示する。

第 2 回は、8 月に開催予定の「平成 24 年度府内発掘調査成果速報展」にあわせ、聚楽第跡に関連する調査成果を解説する。

第 3 回は、平成 25 年度に話題となった調査成果をテーマに開催する。

## **(2) 機関誌**

当調査研究センター及び府内関係機関等の発掘調査状況の速報として、当面する埋蔵文化財の調査、研究及び保護に資するために『京都府埋蔵文化財情報』を年3回刊行する(第121～123号)。

## **(3) 成果展**

平成24年度に当調査研究センターが実施した調査成果を中心として、府内市町村の成果も加え成果展を開催する。会場は向日市文化資料館で、会期は平成25年8月の2週間を予定している。

## **(4) 共同研究**

当調査研究センターにとって必要な調査研究を行い、その成果を『京都府埋蔵文化財情報』に公表して、京都府における埋蔵文化財の保存と活用に資するため、職員により共同研究を行う。

## **(5) 出前講座・体験授業等**

京都府教育委員会、各教育局、府文化環境部、市町村及び府内小・中学校と連携して、出前講座や発掘調査体験授業、現地説明会等、積極的な文化財保護の啓発を行う。あわせて、ホームページで啓発事業の活動報告を行う。

## **(6) 「関西考古学の日」関連事業**

全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックの各財団が各種イベントを開催する「関西考古学の日」に関連して、当調査研究センターでも、京都の歴史を紹介する講座等を開講する予定である。